

RadPro 放射線防護衣

【禁忌・禁止】

<使用方法>

防護具に損傷が認められたものを使用しないこと。[正常な X 線遮蔽性能が保たれていないおそれがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造



2. 原理

X 線防護材が X 線を減衰させ、不必要な放射線被爆から、術者等の体の一部を保護する。

3. 原材料

1. 表地: ナイロン
2. 防護材: アンチモン等

4. その他の一般的名称

放射線防護用胸部前掛 (38356000)
放射線防護用生殖腺防護具 (38367000)
放射線防護用掛布 (38357000)
放射線防護用カラー (38358000)
放射線防護用帽子 (70041000)
放射線防護用顔面防護具 (38363000)

【使用目的又は効果】

本品は、診断や治療のための処置における不必要な放射線被爆から患者、術者、又は他の人員の体の一部（胸部、生殖腺、甲状腺、頭部、顔面等）を保護するために使用する衣類または保護装置である。

【使用方法等】

1. 保護したい箇所を覆うことができる、体の大きさに適合するものを使用すること。
2. 使用前には、本品を着る。または、放射線を照射する範囲に本品を置く。
3. 使用後には、本品を脱ぐ。または、本品を外す。

<使用方法に関する使用上の注意>

1. 一次放射線（直接線）の放射線被爆からの保護には使用しないこと。[本品は一次放射線（直接線）の放射線被爆からの保護を目的としていないため。]
2. X 線防護材に損傷、又はそのおそれのある場合には使用しないこと。[本品の性能を発揮できないおそれがあるため。]
3. X 線防護材を強く折り曲げないこと。[損傷する原因となるため。]
4. ハンガーやスタンドを使用したり、注意して丸めたりして保管すること。[損傷の原因となる折れ等を防ぐため。]
5. 漂白剤やアルコール、アルコール製剤を使用しないこと。水に浸漬しないこと。[変質や早期劣化のおそれがあるため。]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 使用状況、使用頻度により、X 線防護材にひび割れ、穴あきなどの損傷が生じるおそれがある。[本品の性能を発揮できないおそれがある。]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

1. 水濡れに注意し、直射日光や高温多湿、衝撃等を避けて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検（日常点検）>

1. 血液や体液等が付着したら中性洗剤で速やかにこすり落とすこと。保護材は水で湿らせた布で拭くこと。
2. 日常の始業、終業時に目視、触覚等による点検を行うこと。
X線防護材に損傷が発生しているおそれがあると判断した場合は、使用を中止してX線透視又は透過写真撮影による検査を行うこと。

<使用者による保守点検（定期点検）>

6ヶ月から1年毎に1回以上のX線透視又は透過写真撮影による検査を行うこと。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：大正医科器械株式会社

電話 06-6451-7177

製造業者：RadProtection Co., Ltd.（フィリピン）